# 伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード		名	称			П  -  -	名称
事業名	1041	文化財保存約	ス弗			会計	01	一般会計
尹禾石	1041	人口的体行	工具			款	10	教育費
基本施策	36	歴史や文化を	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ			項	05	社会教育費
					目	02	文化財保護費	
担当部課名		教育委員会 大山田分室				細目	101	文化財保存経費
作成者氏名	山:	山本正彦 連絡先		46-01	30	細々目	01	文化財保存経費

#	444	_	= 1	画		-	100
₩	茟	(1)	言士	·I⊞I	•	ᄊ	

	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
争坐	植木神社祇園祭保存会 富永的祭保存会	2つの保存会により、県指定無形文化財が伝承される。
<del>末</del>	富永的祭保存会	
日		
目的		
Н		
本	植木神社祇園祭	
在		
度	富永的祭	
事業		
未内	富永的祭	
容		
1	<mark>¶始年度 </mark> 平成    年度 <mark> 終了年度 </mark> 平成    年度 <mark> </mark>	<mark>恨拠法令·要綱等</mark>

#### 投入資源

			H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)		0.1	0.1	0.1
	人件費合	計(A)	720	720	720
②支出内訳		事業費(B)	300	270	240
(千円)		補助金	150	135	120
		その他	150	135	120
合計(A+B)			1,020	990	960
③財源内訳	特定財源	国県支出金			
(千円)		地方債			
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源		1,020	990	960
上記①~③(	に関する特	記事項			

### 事業実績

<b>事業美績</b>				
活動指標	単位	実績値	目標	票値
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	中世	H17	H18	H19
保存会の活動回数	回	10	10	10

### 評価指標

山岡沿水					
事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
保存会に参加する人数	保存会の存続自体が文化財の伝承につながる。	人	600 目標 ( )	600	600
			目標())		

## 事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

県指定無形文化財の伝承

	必要性	4		総合評価
評	有効性	3	  県指定無形文化財の伝承	
価	達成度	3	宗祖に無沙文11 財の伝承 	l A
	効率性	3		